

I. 北海道科学大学短期大学部の基本姿勢

本学は、大正13年（1924年）に、伏木田隆作によって設立された自動車運転技能教授所を嚆矢として、本学園の先人は80有余年にわたり自動車の運転および整備技術の普及に貢献した。そして、第2次世界大戦の困難な時期をも良く乗り切って、本学は、わが国初の自動車工学専門の短期大学として敗戦後間もない昭和28年（1953年）に開学した。

1. 建学の精神

本学は、「科学的市民」の育成を教育理念の中心に据えて、知識基盤社会を担う市民としての汎用的技能・能力と時代の要請に即した専門の学術を教授・研究し、高い応用能力と健全な心身を備え、科学的思考によって専門職としての役割を主体的に果たせる人材を育成することにより、地域社会の活性化に寄与することを使命とする。

2. 教育理念

『進取不屈』（自ら進んで物事に取り組み、どんな困難にぶつかっても意志を貫く）

建学の精神に則り、自ら進んで広く知識を修め、技術力を高め、深い洞察力とたくましい創造力を培い、地域社会はもとより、グローバルな視野を持って人類の幸福に寄与できる人材の育成を教育理念とする。

3. 教育目的

本学学則第1章第1条（目的）に明記されているように、「教育基本法に則り、学校教育法の定める短期大学として、広く知識を授けるとともに、深く自動車工業に関する専門の学芸を教授研究し、その応用能力とすぐれた人格を育成し、もって社会に有用な実践力に富む人材を養成すること」が教育目的である。

4. 教育目標

自動車工学の基礎から整備技術・設計に至るまでを総合的に学習し、二級自動車整備士の教育課程に定められた知識と技術を修得するとともに、自動車産業に広く対応できる人材の育成を教育目標としている。